



「ららぽーと富士見」

平成27（2015）年4月10日（金）グランドオープン

4月6日（月）の内覧会からプレオープン3日間を経てのグランドオープンでした。内覧会、プレオープンでも大変な人出でした。日頃、あまり若い年代層を見ないこの界隈でしたが、田園の中に、突如として別世界の町が生まれた感じです。富士見市が大いに活性化することへの期待が膨らみます。

昨年度の富士見市民大学の行財政講座「富士見市を知り、未来を描く」において、星野市長がまちづくりの推進のひとつとして「ららぽーと」について述べられたこと。また、企画懇談会で『「ららぽーと」と地域活性化について』がテーマであったことなどから、オープンを機に現場レポートを作成しました。

■ 「ららぽーと富士見」概要

予定建築物概要	
地名地番	埼玉県富士見市山室一丁目1259番1号 外228番
敷地面積	152,076.10㎡
建築面積	59,145.62㎡
建築物の高さ	24.66m
建築物の階数及び棟数	地上5階、10棟
建築物の用途	物品販売業を営む店舗 他
建築主の住所氏名	東京都中央区日本橋豊町三丁目1番20号 三井不動産株式会社 商業開発本部
<small>この標識は、埼玉県中高層建築物の建築に係る指導等に関する条例第4の規定により設置したものです。 上記建築計画についての説明の申出は下記へご連絡下さい。 (連絡先) 富士見市山室・神楽地区開発設計事務所 担当 辻倉 洋 電話 0491-275-9080</small>	

<工事看板>

◇約152,000㎡－46,000坪の敷地面積は、東京ドームの建築面積（46,755㎡－14,168坪）の3.2個の面積です。

三井不動産のHPより

- ◇鉄骨造4階建（店舗部分は3階建）
- ◇駐車場棟は鉄骨造5階建
- ◇延床面積 約185,000㎡
- ◇店舗面積 約80,000㎡
- ◇店舗数 293店
- ◇駐車台数 約4,600台

- ◇設計・施工 (株)安藤・間
- ◇環境デザイン (株)石本建築事務所
／THE BUCHAN GROUP
- ◇基盤整備工事 (株)フジタ
- ◇運営・管理 三井不動産商業マネジメント(株)

■ Lalaport 玄関



■ 「ららぽーと」と対面する、「平和の鐘」と「青桐」と富士見市役所碑



2014年9月 撮影



富士見市役所の文字が白文字でリニューアル
道路も整備されました。

※青桐・・・広島原爆で、爆風により幹の半分がえぐられましたが、翌春に芽を吹き、人々に生きる希望をあたえました。現在も傷跡を包むように成長を続けており、「広島原爆よりよみがえった木」といわれます。その種から育てられた木が「平和の鐘」の横に植えられている「青桐」です。

ららぽーと富士見、10日開業 売上高500億円見込む

2015/4/7 10:07

三井不動産は6日、大型商業施設「ららぽーと富士見」(埼玉県富士見市)の詳細を発表した。衣料品店や飲食店など293店が入居し、年間売上高は450億～500億円を見込む。地元の農業協同組合(JA)や商工会と共同イベントを開いたり、周辺住民らの憩いの場となる公園やイベント会場、フットサル場を整備したりするなど、「地域密着」を前面に打ち出して集客につなげる。

同社は6日、施設を報道関係者に公開した。10日に開業する。地上4階建てで、店舗面積は約8万平方メートル。同社の石神裕之・商業施設本部長は「地域に根付いた施設にしてい」と述べ、地産地消や地域活性化に積極的に取り組む考えを示した。

地元のJAいるま野が農産物の直売店を出店するほか、飲食店に地元産野菜を提供する。富士見市や地元農家などとも協力し、周辺農地で野菜の収穫を体験できるイベントを定期的で開催する。

公園(約8700平方メートル)にはベンチや子供向け遊具を設置。地震など大規模災害時には地域の防災拠点としても活用する。このほか、ランニングコース(1周500メートル)やシャワー室などを備えたランニングステーション、食材や飲料を持ち込めるバーベキュー広場も整備。地域の憩いの場として利用してもらう。

全てのテナントが富士見市商工会の会員になり、スタンプラリーなどのイベントを共同開催することも検討する。

同施設と東武東上線の鶴瀬駅や志木駅、JR大宮駅など周辺主要駅を結ぶ路線バスも誘致。マイカー客以外の集客にも力を入れる。



路線バス



ランニングコース

4. 富士見市のまちづくり (5) まちづくりの推進④

◆ (仮称)ららぽーと富士見



敷地面積	約152,000㎡
延床面積	約185,000㎡
雇用予定数	約4,000人
平日来場客数	約27,700人/日
休日来場客数	約55,400人/日

◆ 市への歳入見込み(毎年)

固定資産税(土地) 約70,000千円
 (家屋) 約180,000千円
 個人・法人市民税は不明

※三井不動産の見込み売上高(450億円～500億円)は富士見市の一般会計の歳入が約300億円ぐらいですから、それを超えるお金が動くことが見込まれているようです。

固定資産税以外にも直接・間接の寄与を期待したいところです・・・HP報告者のコメント

■ ららぽーと開業までの経緯

富士見市HPで開業までの経緯を知ることができます。

[TOP](#) > [市政・まちづくり](#) > [まちづくり](#) > ららぽーと富士見

大きな時点を取り上げますと以下ようになります。

- H24(2012). 3. 16 開発許可
- H24(2012). 8 計画発表 造成H24秋、建築H25春、開業H27春
- H24(2012). 9. 3 造成工事開始
- H25(2013). 10. 25 建築工事着手

☆2014年暮れに
 富士山現る
 (粋な演出)



この場所に現る

- H27(2015). 4. 10 グランドオープン



2014.12.31 撮影

■富士見市役所・ららぽーと界隈の開発履歴

・・・富士見市 市民便利帳などからピックアップ記載・・・

S 4 8 (1973). 8 新市庁舎完成

S 5 2 (1977). 10 みずほ台駅開設

S 5 6 (1981). 8 富士見・川越有料道路開通

S 5 7 (1982). 7 第1回ふじみ市民まつり開催（市制10周年）

S 5 9 (1984). 6 市民プール「ガーデンビーチ」オープン

H 2 (1990). 10 市民総合体育館開館

H 5 (1993). 11 ふじみ野駅開設

H 6 (1994). 10 中央図書館開館

H 1 4 (2002). 11 市民文化会館キラリふじみ開館

H 1 5 (2003). 4 文化の杜公園開園

H 1 7 (2005). 10 富士見ふるさと祭り開催

ふじみ市民まつり、産業祭、環境フェアを統合して
富士見ふるさと祭りとして生まれ変わりました

H 2 7 (2015). 4. ららぽーと富士見 グランドオープン

※「ららぽーと富士見」の場所は

かつて

富士見市民まつりで、花火が打ち上げられていました。

打上の爆発音を体で感じながら、火薬の煙硝を吸いながら、真上に上がる真夏の花火を堪能していました。

さらに昔には

「ふじみの伝説・昔ばなし」資料篇（二）4. 丸池の大蛇

によると・・・

昔、丸池には大蛇がおったそうさ。池のそばの土手に大きな穴があって、そこに住んで居たらしい。電信柱位太くて長かったそうさ。

ある年、丸池の水が少なくなったとき、大蛇は困って、市役所の北にあった大沼にいったしまったそうさ。その日は、丸池から大沼までの道の草がおしたおされていたそうさ。

・・・と言う。

■スナップ写真<建築中とオープン時>

<山室側から>



2014/5 建築中 撮影↑

↓2015/4 オープン時



<新河岸川から>



2014/6 建築中 撮影↑

↓2015/4 オープン時

